

第44回青森県高等学校新人陸上競技対校選手権大会
兼 第24回東北高等学校新人陸上競技選手権大会青森県予選会

実施要項

- <主催> 一般財団法人青森陸上競技協会
<共催> 青森県高等学校体育連盟陸上競技専門部

- 1 期 日 令和元年9月6日(金)～9月8日(日) 3日間
- 2 会 場 新青森県総合運動公園陸上競技場
青森市大字宮田字高瀬 22-2 TEL.017-737-0600
- 3 種 目
[男子] 21種目
100・200・400・800・1500・5000・110H・400H・
3000SC・4×100R・4×400R・走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳・
砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投・5000競歩・混成八種競技
[女子] 21種目
100・200・400・800・1500・3000・100H・400H・
2000SC (OP)・4×100R・4×400R・走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳・
砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投・5000競歩・混成七種競技
(OP:オープン種目。参加種目数に数えない。また、学校対校得点の対象外とする。)
- 4 競技規定 2019年度日本陸上競技連盟規則による。
- 5 競技方法 (1) 学校対校とする。
(2) 男子及び女子別の合計得点によって学校の順位を決定する。
(3) 各種目の得点は1位6点、以下5・4・3・2・1点とする。
- 6 参加資格 (1) 学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍し、青森県高等学校
体育連盟に加盟している生徒であること。
(2) 青森陸上競技協会の2019年度登録競技者であること。今大会初めて
参加する選手は登録を済ませてから申し込むこと。
(3) 平成13年(2001年)4月2日以降に生まれた者で、全日制課程の1・
2年及び定時制課程の1・2・3年に在学する生徒であること。
(4) チームの構成において、全日制・定時制・通信制の課程の生徒による
混合チームは認めない。
(5) 当該年度の青森県高等学校定時制通信制総合体育大会陸上競技大会出場
者及び出場校は、除く。
(6) 転校後6カ月未満の者は認めない。但し、一家転住等やむを得ない
場合は、青森県高体連陸上競技専門部長の認可があればこの限りでは
ない。
- 7 申込方法 (1) 大会前にメールで送られてくる「申込ファイル」で申込書を作成すること。
(2) 青森陸上競技協会ホームページ (<http://www.jomon.ne.jp/~arikkyo/>)
を参照し、青森陸上競技協会競技部事務局へ、申込ファイルをメールで
送信し申し込むこと。
(3) 問い合わせ先 五所川原工業高等学校 奈良 金良 TEL0173-35-3444
(4) 締め切り 8月7日(水) 12:00必着

- 登録をしていない生徒の申込みは受付けません。厳守してください。
●申し込み後の変更は一切受付けません。

●申し込みに遅れた学校は出場できないものとする。

- 8 参加制限 1種目 1校3名以内（リレーは6名以内）
1人 2種目以内（**オープン種目とリレー競技を除く**）

- 9 参加料 1種目800円、リレー1000円
※8月9日（金）までに下記に振込で納入すること。（厳守）
（2019年度学校負担金未納校は1万円を参加料と同時に納入すること）

銀行名	青森銀行	木造支店
店番	506	
口座番号	3048611	
名義	青森県高等学校体育連盟陸上競技専門部	代表 野呂 透

●当日に持参することのないよう、必ず期日までに振り込んでください。

10 選手登録に関する問い合わせ先

野辺地高等学校 鶴田 泰 TEL0175-64-2266

11 表彰

- (1) 学校対校は、男子・女子総合優勝校にそれぞれ優勝旗、準優勝校には準優勝杯を授与し、第6位までの学校を表彰する。
- (2) 個人は種目別第6位までの者を表彰する。
- (3) 大会で4位まで入賞した者は、東北高等学校新人陸上競技大会の参加資格が得られるものとする。但し、**混成競技は3位まで**とする。（走高跳と棒高跳は4位までの入賞者4名とする。）
- (4) 4位（**混成競技は3位**）までの入賞者で、東北新人を辞退する者が出た場合は、繰り上げ出場をさせる。但し、決勝進出8位以内の者から選考する。

東北高等学校新人陸上競技大会 9月27日（金）～9月29日（日） 青森県青森市 新青森県総合運動公園陸上競技場
--

12 連絡事項

- (1) 競技中の疾病、傷病等の応急処置は主催者側において行うが、その後の責任は負わない。参加者は健康保険証を持参すること。
- (2) 引率責任者は生徒のすべての行動に対して、責任を負うものとする。
- (3) 競技場は全天候型舗装であり、スパイクのピンの長さは9mm以下とする。
- (4) 競技用具は競技場に備え付けたものに限る。但し、棒高跳びのポールは除く。
- (5) 5000m競歩競技において、制限時間を設ける。男子35分、女子40分でラスト1周を通過していないときは、競技を終了します。ただし、競技の進行状況によっては、その限りではないものとします。
- (6) 大会に参加する選手は、十分に練習した選手とします。特に、棒高跳やハードル種目は、生徒の身体の安全確保、円滑な競技運営を考え、エントリーする際は十分考慮をお願いします。
- (7) プログラムは参加数により各学校に配付する。その他は実費販売する。
- (8) 競技日程（案）はHPに掲載の通りですが、参加人数により多少変更があります。
- (9) 宿舎は各学校で手配すること。
- (10) 大会前日の競技場での練習は各学校で対応すること。
- (11) 出場選手数に応じて各校に競技補助員を割り当てます。
- (12) その他
 - ・各学校のテントの設置は、大会1日目からです。前日からの場所の確保は禁止します。
 - ・テントはサイドコンコースとメインコンコースに設置することになります。